

あいさつ標語を夏に募集したところ、三三七人から三三三作品の応募があり、次の作品が優秀賞に選ばれました。

これら標語の精神が受け継がれ、今以上に「あいさつの声」がひびく葉山のまちになればいいと願っています。

## あいさつ標語優秀作品

あいさつが 地域の垣根 低くする 田中 英雄(一般)

あいさつは ついででも何でも 自分から 匿名 (一般)

挨拶は ちょっとうれしい プレゼント 渾本 颯志(小学六年)

あいさつは 元氣をつくる えいようだ 佐久間峻太(小学五年)

こんにちは げんきをみんなに おすわけ 岩澤 晟(小学六年)

あいさつを 言おう返そう 元氣な声で 山口 亜希(小学六年)

おはようは 心めざめる 朝日だよ 今西 麻人(小学四年)

こんにちは いえたらあしたは もうともだち 安田 彩花(小学一年)

こんにちはって いったらね こんにちはって いわれたよ 関谷 真未(小学一年)

あいさつの キャッチボールを 始めよう! 柴田光太郎(小学一年)

あいさつが つくる 人の和 笑顔の輪 神田 晶子(小学一年)

あいさつが つくる 人の和 笑顔の輪 神田 晶子(小学一年)

あいさつが つくる 人の和 笑顔の輪 神田 晶子(小学一年)

あいさつが つくる 人の和 笑顔の輪 神田 晶子(小学一年)

あいさつが つくる 人の和 笑顔の輪 神田 晶子(小学一年)

あいさつが つくる 人の和 笑顔の輪 神田 晶子(小学一年)

あいさつが つくる 人の和 笑顔の輪 神田 晶子(小学一年)

あいさつが つくる 人の和 笑顔の輪 神田 晶子(小学一年)

あいさつが つくる 人の和 笑顔の輪 神田 晶子(小学一年)

あいさつが つくる 人の和 笑顔の輪 神田 晶子(小学一年)

あいさつが つくる 人の和 笑顔の輪 神田 晶子(小学一年)

あいさつが つくる 人の和 笑顔の輪 神田 晶子(小学一年)

青少年問題協議会では、「あいさつ」運動の推進が青少年や町にとっていかに大切かを様々な場で再確認し、今年度も「あいさつ」運動を進めています。

「あいさつ」は、心と心、家庭と地域を結ぶ架け橋です。子どもたちの健やかな成長を願い、皆さんのご協力をお願いします。

今月は、町内の小・中学校を中心に「あいさつ」の呼びかけをしています。

問合せ 葉山町青少年問題協議会 (生涯学習課内) ☎内線七二二二

## 町立小中学校の耐震診断結果

町立小中学校の耐震化は、平成七年度に校舎や体育館の全棟の一次診断(\*1)を行い、平成十二年度から耐震補強工事等を計画的に進めています。

学校施設は子どもたちが学ぶ場であるとともに、災害時には地域の避難場所等の防災拠点としての役割を果たすため、安全性を確保していく必要があります。

工事等でご迷惑・ご不便をおかけしますがご協力ください。

学校施設の耐震状況は、今後ホームページ等で公表する予定です。

問合せ 教育総務課 ☎内線七二二二

\*1 一次診断：危険性の低い建物を抽出するため、建物の耐震性を簡略的に評価する診断方法。

\*2 二次診断：補強内容を検討することに行われることが多く、耐震性を詳細に評価する診断方法。

\*3 新耐震：昭和五六年建築基準法改正以降の耐震基準で建設されたもの

\*4 旧耐震：昭和五六年建築基準法改正以前の耐震基準で建設されたもの

\*5 耐震性あり：一次診断(平成七年度)で耐震性があると診断されたもの、新耐震のもの、補強工事完了のもの。

\*6 未実施二棟は教室として非活用。

葉山町学校施設耐震診断状況(平成20年11月20日現在) 診断対象建物:非木造2階以上か床面積200平方メートルを超えるもの

葉山町学校施設耐震診断状況(平成20年11月20日現在) 診断対象建物:非木造2階以上か床面積200平方メートルを超えるもの

校数	棟数													
	耐震基準		建物種別	診断実施状況					診断結果の評価Is (構造耐震指標:数値が大きいほど耐震性が高い)					
				全体	1次で耐震性あり(*5)	2次診断(*2)			0.3未満		0.3以上0.6未満		0.6以上0.75未満	0.75以上
	新耐震(*3)	旧耐震(*4)				実施済	実施中	未実施(*6)	0.3未満	0.3以上0.6未満	0.6以上0.75未満	0.75以上		
小学校	4	0	4	校舎	11	6	3	0	2	2	1	2	0	6
				体育館	5	4	0	1	0	0	0	0	1	4
中学校	2	1	1	校舎	5	2	0	3	0	1	1	1	0	2
				体育館	3	1	0	2	0	0	0	0	2	1
計	6	1	5	校舎	16	8	3	3	2	3	2	3	0	8
				体育館	8	5	0	3	0	0	0	0	3	5
				計	24	13	3	6	2	3	2	3	3	13

# 12月4日~10日は「人権週間です」

「人権」は、私たち一人ひとりが差別をしたりされたりすることなく、幸せに暮らすための大切な権利です。

「人権週間」は、一人でも多くの皆さんが人権に対する正しい認識を養い、人権を守ることの大切さを再確認するために設けられました。

お互いの違いを認め、お互いの苦しみを理解し、その個性を尊重し合うことで、問題の多くは解決できると思われ

ます。自分にとって、一番身近な問題から考えてみませんか。

## 人と人との絆を未来へつなぐ 人権擁護委員

「人権擁護委員」は、地域や家族のきずなをいかに未来へつなげて問題解決するかを大切にしています。相談内容をよく聞いて、当事者双方の関係を断ち切らないよう、専門窓口を紹介するなどの助言をします。

当町でも、法務大臣から委嘱された人権擁護委員が、毎月第二火曜日に、家庭内や隣人とのめめごと、借地、借家、相続などの相談に応じています。委員の自宅でも随時電話で相談を受け付けています。

秘密は厳守されるので、気軽にご相談ください。

葉山町人権擁護委員（敬称略）

横田 昌和（上山口）

☎八七八一七七七七

本多 清法（一色）

## 人権を考える集い

盲導犬と生活を共にし、パソコン教室の講師をしたり、ピアノストとして演奏を披露したりしたこともある高橋雅枝さん。成人し、失明してから武蔵野音大に入學しました。そんな高橋さんに、障害のある人と共に生活する上での私たちの心がけについて、またどのような社会を目指せばいいのか等について伺います。

また、今年の全国中学生人権作文コンテスト横須賀人権擁護委員協議

会（三浦半島地域）で、金賞の森川敬大さん（「こんにちは赤ちゃん」

葉山中三年）、銅賞の吉村美穂さん（「教育がもたらす力」南郷中三年）の賞状授与式を行います。

申し込み不要です、気軽にご参加ください。

日時 十二月十三日（土）十時～十二時

場所 保育園・教育総合センター（役場駐車場をご利用ください）

手話通訳あり  
※託児は要事前予約（先着五人）  
問合せ 生涯学習課 ☎内線七二三〇

## こんにちは赤ちゃん 葉山中学校3年 森川敬大(抜粋)

夏休みに、昨年結婚した従姉に赤ちゃんが生まれた。

赤ちゃんは、天使のくすぐりと言って、眠りながら微笑んだりして、すごくかわいらしい。さっき僕の顔を見て、火がついたように泣いた同一人物とはとても思えない。

こんなにだれでも「可愛がられるため」のように生まれて来る子どもを虐待したり、捨てたりする親がいるという。

そこで、こんな子どもを少しでも救いたいという願いを込めて作られたのが、熊本市の慈恵病院の赤ちゃんポストである。親の養育放棄を助長するのではないかという意見と中絶や虐待などで失われる命を救うという意見とで、いまだに賛否両論ということだ。

僕には正直どちらの意見が正しいのか分からない。でも、どちらかという、ここで保護されて命が助かるのなら、ポストに預けてほしいと僕なら思う。

赤ちゃんポストを利用した親の半数近くが育てられない理由を病院あての手紙に残していたそう。悩んで苦しんで、そしてここにたどり着くという。その親は我が子に、どうか生き延びて幸せになってほしいと願っていると思う。

本当は、赤ちゃんポストなど必要ない社会が理想だろう。施設がこの社会にあることが果たしてどうなのかを僕たちがこれから考えていかなければならないと思う。

ついこの間まで、部活で真っ黒になって、ラケットを振り回していた従姉が、今はすっかりお母さんだ。相変わらずそっかしくて、見ていてひやひやするけれど、新米親子を見ていて心がほっこりと温かくなった夏休みの一日だった。

